

### 【料金算定例】

・基本使用水量 $2,400\text{m}^3/\text{日}$  ( $100\text{m}^3/\text{h}$ ) の場合

使用水量が $2,400\text{m}^3/\text{日}$ 以下であっても、次のように算定されるので、超過料金が発生することがあります。

なお、「時間最大使用水量」とは、午前零時を起点とする1日の各時間における使用水量のうち最大のものをいいます。

(1)時間最大使用水量が $100\text{m}^3/\text{h}$ 以下の日

基本使用水量  $100\text{m}^3/\text{h} \times 24\text{時間}$  ( $=2,400\text{m}^3/\text{日}$ ) ... 基本料金で算定

(2)時間最大使用水量が $100\text{m}^3/\text{h}$ 超の日

ア. 時間最大使用水量が $105\text{m}^3/\text{h}$ 超の場合

基本使用水量  $100 \times 24\text{時間}$  ( $=2,400\text{m}^3/\text{日}$ ) ... 基本料金で算定

超過使用水量  $100\text{m}^3/\text{h}$ を超える水量  $\times 24\text{時間}$  ... 超過料金で算定

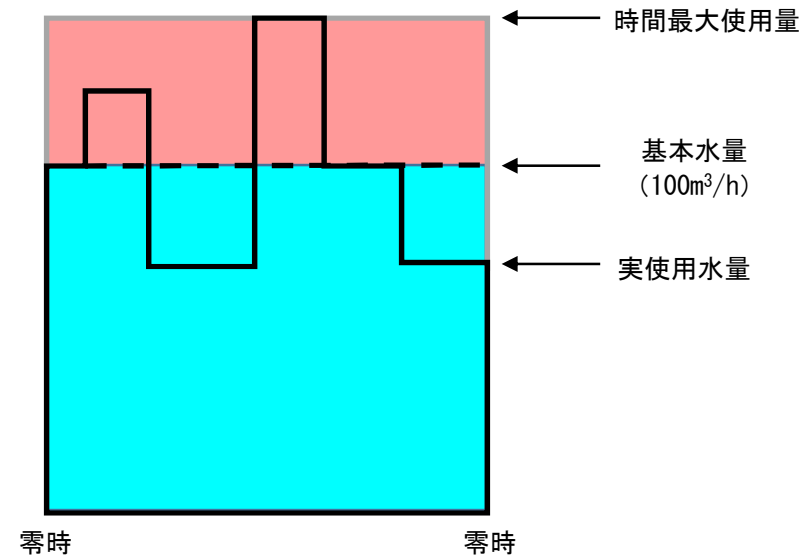
イ. 時間最大使用水量が $105\text{m}^3/\text{h}$ 以下の日

基本使用水量  $100 \times 24\text{時間}$  ( $=2,400\text{m}^3/\text{日}$ ) ... 基本料金で算定

超過使用水量  $100\text{m}^3/\text{h}$ を超える水量  $\times 24\text{時間}$  ... 基本料金で算定

※時間最大使用水量が、基本使用水量の1.05倍を超えるかどうかで変わります。

【工業用水道の基本的な料金体系例】



その他、料金の算定方法については香川県広域水道企業団工業用水道事業給水条例第9条をご確認ください。